



知ることは守ることにつながる 30年以上に渡り日光の自然を調査・保護してきた今市の自然を知る会

「今市の自然を知る会」役員の皆さん…左上から時計回りで吉原さん、駒倉会長、名塚さん、手塚さん、武井さん、田中さん、池田さん、横山さん

今市の自然を知る会

こまくらまさお
駒倉政夫さん

❖ 発足したきっかけは？

昭和61年に26名が発足しました。当時はバブル景気が始まるなど環境保全の面からは難しい時代でした。幸いにも旧今市市には豊かな自然がありました。自然や動植物の実態についての文献記録がほとんどない状態でした。そこで、自然に親しみながら自然や動植物の実態を調査・研究して記録に残し、必要なものについては保護をしようという目的で、この会が発足しました。

昭和61年から始めた日光杉並木街道の植物調査がとても印象に残っています。この会で初めて行った調査でした。調査は1日で行った程度しか進みません。3年半がかりで調査をし、807種の植物が杉並木敷にあることがわかりました。調査結果は1冊の本としてまとめました。

また、20年後の平成18年から杉並木敷の再調査を行い、「新日光杉並木街道の植物」を刊行しました。前回の調査よりも多い1,055種の植物が見つかりました。植物数が前回の調査時よりも大幅

❖ 現在の活動の様子を教えてください

現在は、30〜90代まで66名が所属しています。活動内容は、植物の分布、生育状況などの調査が主な内容です。市町村合併後は、市全体を対象として活動を行っています。今年は土呂部地区の中で調査活動を行っています。

また、調査活動だけではなく、自然観察会（勉強会）やカワラノギク保護活動を行うなど自然と触れ合いながら活動しています。

❖ 最も印象に残っている活動は？

昭和61年から始めた日光杉並木街道の植物調査がとても印象に残っています。この会で初めて行った調査でした。調査は1日で行った程度しか進みません。3年半がかりで調査をし、807種の植物が杉並木敷にあることがわかりました。調査結果は1冊の本としてまとめました。

また、20年後の平成18年から杉並木敷の再調査を行い、「新日光杉並木街道の植物」を刊行しました。前回の調査よりも多い1,055種の植物が見つかりました。植物数が前回の調査時よりも大幅

❖ 市民の方へのメッセージ

もっと若い方に自然に興味を持って欲しいですね。日光市は本当に自然が豊かです。この環境を次の世代へと引き継いで欲しい。今後も私たちは日光市の自然を調査し、保全していきたいと思えます。興味のある方はこの会にぜひ参加してください。

❖ インタビューを終えて…

会は昨年、発足30周年を迎えたこれまでの活動の記録をまとめた「30年のあゆみ」を作成しました。今まで歩んできた道を振り返るとともに、現在を通過点とし、今後とも日光の自然調査・保護に務めていくそうです。

駒倉会長の話や表情からも、日光の自然に対する深い思いが伝わってきました。



植物調査の様子

※「今市の自然を知る会」に入会希望の方は☎21-1077(手塚)まで連絡ください